

この度はmitsubaドルチェホーンをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。お取付けは説明書に従い確実に行って下さい。

1. 取扱上の注意

ドルチェホーンの不具合については、当社製造上の欠陥を除き、責任を負いかねますので取扱いについては充分ご注意ください。

- ドルチェホーンは、ホーンとコントローラーの組合せを変えますと、正常に吹鳴しなくなるので他のセットと組合せを変えないで下さい。
- ホーン内部に水が入ると音量が著しく低下することがあります。ホーンを外して回転させるようにして渦巻内から水を出して下さい。(ホーンは水が入らないように取付けに配慮して下さい。)
- 万一原因不明で音量が著しく低下した時は、コントローラ底部のネジ4ヶを外し、内部回路を取出して調整して下さい。
調整は緑又は黄コードの接続を外し片側づつホーンを鳴らしながら行って下さい。
- ・高音調整(SH-52)……プリント基板上のⓂマークの付いたボリュームをホーンを鳴らしながら左右に少しづつドライバーで回し、最大音のところで止めて下さい。
- ・低音調整(SL-52)……Ⓛマークの付いたボリュームで高音同様に行って下さい。

注調整は2名で短時間に行って下さい。

- オートクルーズコントロール付の車は、既存ホーンスイッチを使用できませんので、別個のホーンスイッチを設けて下さい。

2. 取付位置

- コントローラーは水のかからないエンジンの熱の影響の少ないバッテリーの近く等に取付けて下さい。
- ホーンは水が入らないように開口部を下向きにし、泥ハネ等がかかりにくい位置に取付けて下さい。
●切換スイッチは防水構造でないため、室内に取付けて下さい。



取付例

■ホーン取付姿勢



3. 配線方法

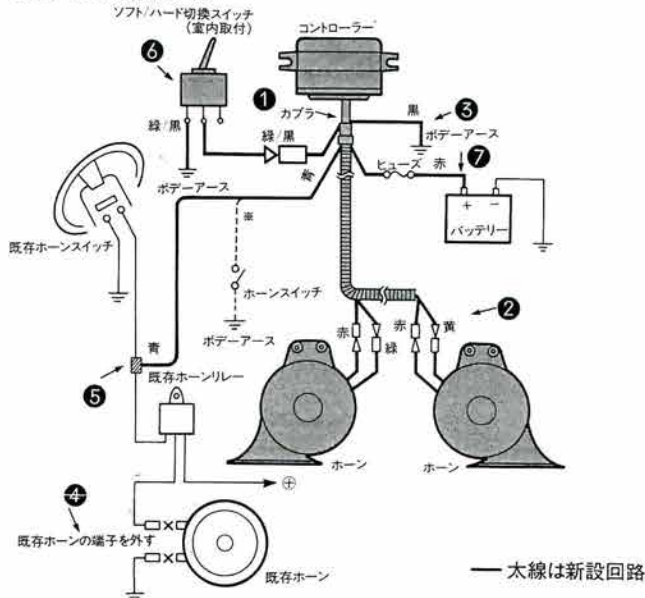
- ホーンリレー付きと無しの車では配線が多少異なります。下記の方法でチェックして[A]又は[B]の方法を選んで下さい。
〈チェック〉既存ホーンの接続コードを2本とも外します。→接続コードの電圧をテスター又は検電ランプでチェックします。

どちらのコードにも電圧(+)が来ていない場合はホーンリレー付きです。

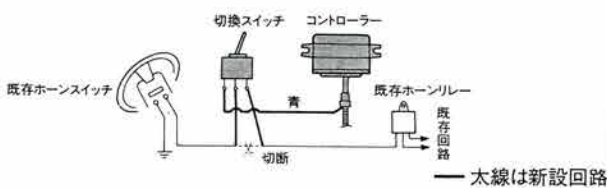
どちらか一方のコードに電圧(+)が来ていればホーンリレー無しです。

[A]ホーンリレー付きの車に配線する方法

- バッテリーの⊖端子を外してから作業して下さい。
- ①→⑦の順に作業を進めて下さい。(⑤の配線のみ次ステップ)
- ⑤の青コードを手持ちで車体アースに接触させ、吹鳴を確認してから⑥の接続を行って下さい。
- ※---線は既存ホーンスイッチを使用しないで、別のホーンスイッチを使用する時の配線です。

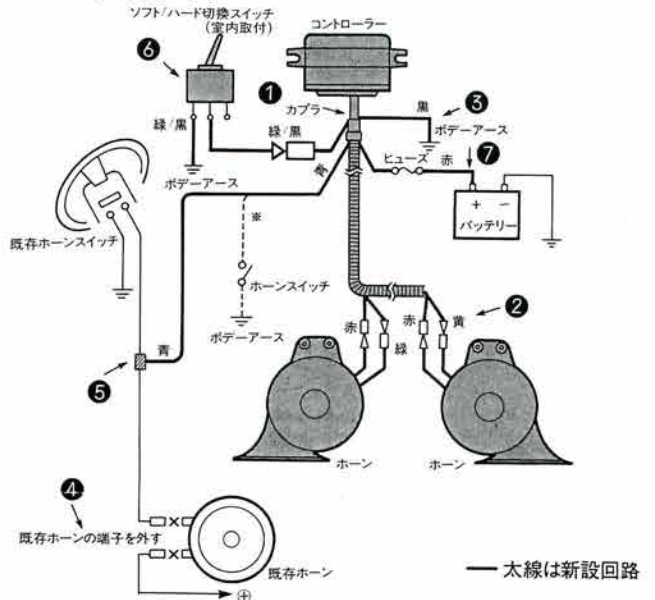


既存ホーンとドルチェホーンの切換えを行う回路(変更部分のみ)



[B]ホーンリレーの無い車に配線する方法

- バッテリーの⊖端子を外してから作業して下さい。
- ①→⑦の順に作業を進めて下さい。(⑤の配線のみ次ステップ)
- ⑤の青コードを手持ちで車体アースに接触させ、吹鳴を確認してから⑥の接続を行って下さい。
- ※---線は既存ホーンスイッチを使用しないで、別のホーンスイッチを使用する時の配線です。



既存ホーンとドルチェホーンの切換えを行う回路(変更部分のみ)

